

「ゼミ対抗研究発表大会 2025」を1月10日（土）に開催

～4年間の学びの集大成、今年のテーマは“知行合一”～

武藏大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、学生団体武藏大学ゼミナール連合会主催の「ゼミ対抗研究発表大会 2025」（以下、ゼミ大会）を2026年1月10日（土）に開催します。

「ゼミの武藏」と呼ばれる所以のひとつでもあるゼミ大会は、学生が運営する経済学部の一大イベントで、建学の理念である「自ら調べ自ら考える」を実践する学びの集大成の場です。単なる研究発表会ではなく、プレゼンテーションにより優勝をかけて競い合う、学生たちの真剣勝負の場でもあります。また、経済学部の大会ですが、運営には他学部の学生も参加しており、多様な視点が取り入れられているのも特長のひとつです。今年のテーマは、“知行合一（ちこうごういつ）”。「知」と「行」は分かれておらず一体であるという考え方で、本当の「知る」とは行動が伴って初めて完成するという意味です。学術的な研究のみならず、ゼミ大会という実践的な場を通して学問の研鑽を目指す学生たちの姿に重ね合わせました。本大会は、広く武藏のゼミの魅力を知っていただくため、研究発表を一般公開いたします。

ゼミ大会の特長

- 単なる研究発表会ではなく、プレゼンテーションで優勝をかけて真剣勝負する。
- 教員だけではなく、実業界で活躍する卒業生が企業人の立場から審査、助言、指導を行う。
- 論理一貫性、資料の明確さなど、社会人としても通用する力を意識した、明確な審査基準が設けられている。
- チャレンジ枠があり、学部を問わず全ての学生が参加できる。

ゼミ大会の概要

■日時：2026年1月10日（土）12:30開会（受付開始11:30）※予約不要・入場無料

■会場：武藏大学 江古田キャンパス

■発表者：武藏大学経済学部ゼミ生 6 ブロック*（26 グループ）

[*経営 A、経営 B、金融、会計、経済 A、経済 B] + チャレンジ枠

■タイムテーブル：

12:30～ 研究発表

（各ブロック4～5 グループが参加、1 グループあたり 20 分程度発表）

17:00～ 発表者懇親会及び表彰式（8号館50周年記念ホール）

※発表者、審査員、関係者のみ入場可



2024年のゼミ大会の様子

武藏大学ゼミナール連合会について

1961年（昭和36年）に発足した学生団体で、主にゼミ大会の企画・広報、協賛企業探し、当日の運営を行っている。ゼミ大会に備え、卒業生を講師に招いた「プレゼン講座」「講演会」などを行うほか、新入生向けゼミ紹介冊子の作成、様々なゼミ活動を取材しSNSで発信するなど、ゼミ活性化のための活動を幅広く行っている。

—報道関係者問い合わせ先—

武藏大学 広報部 担当:増田・西（ますだ・にし）

TEL:03-5984-3813 E-mail:pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩 6 分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から 4 年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2020 年 3 月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022 年 4 月、学園創立 100 周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の 4 学部 9 学科となった。

2027 年 4 月からスタートする新カリキュラムでは、データサイエンス系の新専攻として社会学部に「情報社会デザイン専攻」、国際教養学部に「ビジネスデータサイエンス専攻」を設置予定。さらに国際教養学部の経済経営学専攻は学びを広げ、「経済・経営・国際関係専攻」へと名称を変更予定。

建学の三理想

1. 東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物
2. 世界に雄飛するにたえる人物
3. 自ら調べ自ら考える力ある人物

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1